

## 石川県立七尾美術館

池田コレクション・工芸を中心に  
能登の美術 ー昔、そして今ー

会期●2012年4月21日(土)～6月3日(日)

主催●七尾市、財団法人七尾美術館

### 《池田コレクション・工芸を中心に》

「池田コレクション」は、七尾市出身で岐阜県大垣市を拠点に活躍した実業家・池田文夫氏(1907～87)が蒐集した、茶道美術品を中心としたコレクションです。美術品をこよなく愛した氏がその生涯をかけて求め続け、氏の没後にご遺族より七尾市に寄附されました。

現在、204点を数える「池田コレクション」は、当館所蔵品約600点のうち1/3を占めます。また、その内容は「志野」「織部」などの陶磁器や近現代の日本画、「根来」などの漆工品といった、いずれも貴重な作品ばかりです。つまり、名実ともに所蔵品の代表格といえるのがこの「池田コレクション」なのです。

本展では工芸の分野が充実している「池田コレクション」より、陶磁器や漆器などを中心に、計30点を紹介します。

池田氏の「こころ」を感じさせる、珠玉の品々をご鑑賞ください。

### 《能登の美術 ー昔、そして今ー》

「能登ゆかりの美術工芸」とひとことでいっても、時代やジャンル、作者などで膨大な数・内容となります。能登地方に建つ当館にとっては重要なテーマであり、平成7年の開館以来様々な作品を紹介してきました。

本展は、そのテーマに基づいて開催するもので、今回は「古美術編」「現代美術編」の2本立てで、当館所蔵品・寄託品を中心に、一部借用作品を加えて計50点を紹介します。

「古美術編」では、長谷川等伯(1539～1610)やその一族とされる長谷川等誓(?～1636)など「長谷川派」絵師の仏画をはじめとして、能登の寺社や旧家などに代々伝来する貴重な作品などを、絵画や典籍を中心に展示。

一方「現代美術編」では、何らかの形で能登地方と関わりを持つ現代作家31人の各作品を、日本画・洋画・彫刻・工芸の4ジャンルをとおして展示します。

能登によって育まれた、多彩な作品の数々をご堪能いただければ幸いです。



「志野山水人物図中鉢」

当館蔵(池田コレクション)



「根来湯桶」

当館蔵(池田コレクション)



「織部柳文筒向附」

当館蔵(池田コレクション)



国指定重要文化財

「刺繍阿弥陀三尊像」

七尾市・西念寺蔵



石川県指定文化財

「十六羅漢図」

輪島市・總持寺祖院蔵



石川県指定文化財

「善女龍王図」

長谷川信春(等伯)



「草花図屏風」伊年印

個人蔵